

[伊予市家庭教育情報誌]
ほのぼの 第15号



子育てがんばっています！

私たち家族は、6人家族です。隣にはひいじいちゃん、ひいばあちゃん、その隣にもおじおばが住んでいます。
4世帯固まって毎日にぎやかに過ごしています。
子どもが少ない中山町・・・先が不安なところもありますが子どもたちからパワーをもらい毎日笑顔いっぱいにごさるようになんて協力し合って素直で優しい子にのびのびと育てて欲しいです。色んな事に日々感謝して愛される家族を作って行こうと思います。ガミガミ怒ってばかりだけど、精一杯愛情を注いで子どもたちとの時間を大切にして一緒に成長していきたいです。いつもありがとう。

曾祖母：宮野守志、久栄 父母：宮野昌之、樹里
祖母：宮野篤夫、好美 子ども：洸綺、楓芽 (中山町中山)

子育て真っ最中の皆様の応援をします。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

私たちは6人家族、近所に祖父母の家もあります。昨年9月に4人目が生まれとてもにぎやかになりました。1年間の育休も終わり仕事に復帰。時間通りに帰れない時は祖父母にお迎えをお願いしています。休日は祖父母を誘ってドライブ。家族の時間を大切に、成長していく子どもたちを楽しみに見守っていきます。



祖父母：林秀樹、るり子
父母：林忠則、映里
子ども：^{まさな}雅凜、^{ともき}友輝、^{みなと}美奈都、^{みさき}美紗希
(米湊)



子育てがんばっています!!

我が家の息子たちは小学校高学年になり土・日も野球をしているので、なかなか家族揃っての時間がありません。しかしお祭り前になると毎晩のように、祖父・父・息子たちが一緒に獅子舞の練習を頑張っています。親子三代で同じことに取り組めるのは、とても貴重で幸せなことだと思います。今年もお祭りが楽しみです。



祖父母：長田常德、ヨシ子
父母：長田朝徳、さきえ
子ども：^{そらのすけ}空之佑、^{こさろう}鼓吾郎
(下吾川)



今後の活動

開催場所	日時	対象	内容
北山崎小学校 (PTA図書部)	11月7日(金) 15:00~16:00	1~3年生児童	絵本の読み語り
郡中地区公民館	1月16日(金) 19:30~21:00	郡中地区愛護班	グループ討議

個別の相談や少人数グループの話し合いを希望される方は下記までご連絡ください。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ

連絡先

☎ 982-5155 FAX.982-5156
〒799-3113 伊予市米湊 768-2 (伊予市中央公民館内)

家庭教育・子育てサポートグループが 家庭教育・子育てを 応援しています！

活動内容1

子育てに関する
保護者対象の悩み相談

活動内容2

子育て学習や
講座の開催

家庭教育は すべての教育の出発点

活動内容3

家庭教育に関する
情報誌の発行

活動内容4

親子での楽しい遊び
創作活動や
絵本の読み聞かせ等

※出前活動を始めました。少人数グループでもOKです。
お電話ください。(無料)



フィンガーペイントとは？ ゆびは心の筆 色はこころの言葉。

だれしも子どもの頃背伸びをしながら曇りガラスに動物の顔を描いたり美しい砂浜に誰かの顔や名前を描いた思い出はありませんか。それはまさに指が心の筆ようになっていた瞬間ではなかったでしょうか。

フィンガーペイントの魅力は、純真で自由な感性で、心に描いたそれぞれの物語を、指と美しい色によって楽しく表現できることです。

指で描ける絵の具を使って、経験や特別な技術や道具が無くても、いつでもどこでも誰でも、自由に簡単に楽しむことができます。

子どもの味覚はすばらしい(4歳~5歳)

8月11日にマルトモさんの協力をいただき、保護者と子どもの料理教室を開きました。

最初に、花かつおができるまでを説明してもらいました。だしの原料となる数々の魚の見本もみせていただきました。実際にかつお節を削って、香りやおいしさも確かめました。

その後、だしの味比べをしました。花かつおだし、花かつおと昆布だし、削りぶしだしの3種類です。子どもたちは、味の違いがあることを感じとっていました。だしを取った後のかつおも食べ比べ「味が出ているけどおいしい。」とっていました。だしを取った後のかつおや昆布は、甘辛く煮て、佃煮にしました。だしを使ってだし巻き卵を焼き、そうめんの付け合わせに。そしてめんつゆは、もちろん、丁寧にとただしで作りしました。

子どもたちは皆「美味しい、美味しい」と言っていました。ふだん、味が付いている食べ物を摂っている子ども達が、だしの味をしっかり感じ取っていたことに興味しました。



親子であそぼ!!

芸術の秋 小さな芸術家誕生(0歳~3歳)



9月5日上灘保育所(ママハグ主催)で、9月10日はみんくるで、「フィンガーペイント」を行いました。初めに、色に関する絵本の読み聞かせがあり、色に興味を持たせました。

さあ、絵の具の出番です。大きなお皿にたっぷりの絵の具。指につくと不安だったり体や衣服が汚れるのをいやがっていた幼児達も、手に絵の具をたっぷりつけて最初の一描き。慣れると、指だけでなくいろんな所を使って描き始めました。家ではできない活動に、みんな大喜びで取り組んでいました。体や服の汚れは気にしなくなってきました。

体に付いても安全で落としやすい絵の具を使い、体一杯で表現しました。

感想

○今日は貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。子どもたちが普段出来ないダイナミックな体験をする中で、生き生きと活動する姿がみられてよかったです。



○人見知りで手が汚れるのが苦手な子どもです。最初は泣いていて、参加が難しいかと思いましたが、いろいろな先生の楽しい声かけのおかげで少しずつ心がほぐれたようで参加できました。筆やクレヨンも準備してあったので安心したのかもしれませんが。また同じ企画があれば友達を誘って参加してみたいです。



さっちゃんの子育て相談日記

お金の遣い方について
親子で話し合おう



お母さんの後ろについて相談室を訪れたY男(小学3年生)のことを思い出しました。

Y男のお母さんはすっかりしょげていました。「ししの置物の中にはかなりのお金が溜まっていたと思います。この子には何の不自もさせてなかったと思いますのに、親に黙って遣ってしまうなんて」

Y男の両親は共働きで多忙でした。Y男は宿題も明日の準備も自分一人で行っていました。

3年生になると、Y男は自転車で遠出をすることが多くなりました。宿題もできていないというのに、友だちが誘いに来るといそいそと釣りざおをかついで出かけることが増えました。それが楽しくてたまらないのでした。喉が渇くと、友だちが自分のお財布からお金を出してジュースを買ってくれました。いつも貰ってばかりでかっこ悪いと思うY男でした。

「あっそうだ。床の間のししの形をした置物にお金が入っているかもしれない。母さんが入れていたなあ」来る日も来る日もししの置物からお金を持ち出しました。面白いほど出てきました。友だちへのお返しもできました。その時、Y男には、ふと後悔の思いが湧いてきました。

相談室の私に与えられた役目は、子育てに自信を失いかけているお母さんと罪悪感にさいなまれているY男を救うお手伝いでした。幼い時から良い子として育てていた子が急に不良少年になってしまったということではないこと、子どもにも子どもなりの付き合いがあること、そして何よりも親子間で話し合う時間を持つことの意味について話し合うこととなりました。

今後は、「週ごとに決まったお小遣いを与えて、Y男の判断で遣わせる」「小遣い帳をつける」などの約束事をして「大切なものだから大切に遣う」という方針でまとも二人は笑顔で帰っていきました。

(実例をある程度変更および抽象化しています。)

子育て相談室 ☎982-2602 (伊予市教育委員会社会教育課内)
相談内容についての秘密は厳守します。

絵本の紹介

今日、ご紹介させていただく絵本は、「ババールのあかあおきいろ」です。

どんなものにも名前があります。たとえばテーブルの上りんごがあったとします。「うわーりんごがある」「赤いりんご、おいしそうだね」なんて日常の何気ない会話と笑顔が子どもの心には好奇心の魔法となって染み込んでいくのです。

さあ、子どもたちとステキな色さがしをしてみませんか。

そうのババールといっしょに……。



読み語り隊 隊長
橋本千春